



しちのへまち

環境エネルギー読本



発刊にあたって

七戸町では、平成20年度に、普段利用しているエネルギーの無駄を省き、有効に活用することを目的とした「七戸町地域省エネルギービジョン」を、町民や行政機関はもとより、関連する大学、企業からも参加していただき策定しました。



そして、緑あふれる美しい風景と、魅力あるまちづくりを目指して計画された事業を展開しております。

この計画において、重点プロジェクトに掲げられたのが「エネルギー環境教育事業」であります。この事業は子どもの頃から、生活に必要なエネルギー利用と、美しい自然環境を守り維持していくことについて学び、地域のことをより深く理解してもらうことで、「郷土愛」を育むことを目的としたものであります。

今年度、七戸町と七戸町教育委員会は、エネルギー環境教育事業の具体的な取り組み方法についての検討や取りまとめを行うために「七戸町エネルギー環境教育プログラム策定委員会」を組織し、『しちのへまち環境・エネルギー読本』をつくりました。

教える立場にある先生方に、七戸町にあるものを教材として利用してもらうことや、指導するときの副読本を整備することで、町独自の教育を行うことができ、「自然環境」「エネルギー」「歴史・文化」等の指導項目について、その指導方法をまとめております。

この読本をご活用いただき、子どもたちの「郷土愛」を育む教育の一助としてくだされば幸いです。

最後になりましたが、本プログラム策定にあたり、ご指導、ご協力を賜りました関係者の方々に、心よりお礼申し上げます。

平成23年3月
七戸町長 小又 勉

目次

CONTENTS

1	七戸町環境・エネルギー教育の基本方針および目標	1
2	七戸町環境・エネルギー教育の体系	2
	(1) 持続可能な社会構築に向けた七戸町の実践	2
	(2) 七戸町環境・エネルギー教育の特徴	2
3	地域資源の活用	4
	(1) 環境・エネルギー教育に関連する地域資源マップと分類	4
	(2) 地域資源の概要	6
4	町内小中学校での環境・エネルギー教育実践例	31
5	環境・エネルギー教育の授業例の提案	47
6	七戸町の概要	61
	(1) 位置	61
	(2) 交通	62
	(3) 地形	62
	(4) 人口・世帯数	63
	(5) 産業	64
	(6) 七戸町教育施策の方針	65
7	委員会の概要	66



七戸町環境・エネルギー教育基本方針

豊かな自然や生活、
エネルギーに興味を持ち、
実践を通じて
ふるさとを愛する「七戸人」の
育成を目指します

七戸町環境・エネルギー教育の3つの目標

豊かな自然を守り育てる



エネルギーについて興味・関心を持つ

七戸町の生活や文化を継承する



(1) 持続可能な社会構築に向けた七戸町の取組み

持続可能な社会構築のためには、「環境」と「開発」の共存が不可欠です。

しかし、国内外の温室効果ガス排出量は増加の一途をたどり、地球温暖化が深刻な問題となっています。

平成17年度に策定された「七戸町長期総合計画」では、将来像である『潤いと彩りあふれる田園文化都市』を実現するために、「広域連携型のまちづくり」、「地域経済自立型のまちづくり」、「住民参加型のまちづくり」が基本方針として掲げられ、地方の再生に向けて様々な取組みを行っています。

特に低炭素社会や循環型社会の実現に向けて、太陽光発電、低公害車の導入、ノーカーデーの実施および住民用太陽光発電設備への補助等に取り組んできました。

平成22年12月4日には、東北新幹線七戸十和田駅が開業しました。エネルギー効率が高く環境に優しいインフラを活かすため、町では新エネルギー・省エネルギービジョンを策定して、電気自動車の普及等に力を入れています。また、平成22年度には、電気バスを導入し、道の駅しちのへに電気自動車用の充電スタンドを設置しました。

(2) 七戸町環境・エネルギー教育の特徴

「七戸町長期総合計画」の中では、基本構想の「豊かな心と文化を育むまちづくり」として、学校教育の充実が掲げられています。「知・徳・体」の調和の取れた人間性豊かな子どもを育成し、学び・自立・共生の力を育む学校教育を目指しています。

豊かな自然、町が取り組む太陽光発電パネルや電気自動車等の資源を積極的に授業に取り入れ、「子どもの生きる力」、「町の生きる力」を育むことが、七戸町の環境・エネルギー教育の特徴です。

七戸町長期総合計画

～潤いと彩りあふれる田園文化都市をめざして～

自然を守り、自然を育て、自然を楽しみ、自然から学ぶ
「環境を保全する地域社会の構築」をめざす。



七戸町環境・エネルギー教育

基本方針

豊かな自然や生活、エネルギーに興味を持ち、
実践を通じてふるさとを愛する
「七戸人」の育成を目指します

目標

豊かな自然を
守り育てる

エネルギー
について
興味・関心を持つ

七戸町の
生活・文化を
継承する

感じる

自然への感受性を高め、地域とエネルギーに関心を持つ

知る

七戸町の地域特性や歴史とエネルギーの関係を知る

考える

エネルギーと自然・地域社会の共生を考える

行動する

地域社会に参加し、自然と共存しながらエネルギーを利用する



持続可能な社会の構築

図1 七戸町環境・エネルギー教育の体系

3 地域資源の活用

(1) 環境・エネルギー教育に関連する地域資源マップと分類

七戸町環境・エネルギー教育の目標を実現するためには、七戸町の地域資源を通して「感じる」「知る」ことが大切です。

ここでは、町内に点在する主な地域資源の位置を示すとともに、「豊かな自然」、「エネルギー」、「生活・文化」それぞれの目標に合わせて活用できるように分類しました。





地域資源一覧

資源名	豊かな自然	エネルギー	生活・文化	ページ
1 八幡岳	●			6
2 石倉山放牧場	●			6
3 三階滝、電天の滝	●			6
4 天間ダム	●			7
5 森林公園	●			7
6 銀南木、五庵川原	●	●		8
7 作田ダム	●			8
8 七戸町営スキー場	●			9
9 東八甲田家族旅行村	●			9
10 東八甲田ローズカントリー	●			10
11 和田ダム親水公園(わんだむらんど)	●			10
12 千曳神社			●	10
13 太陽光発電パネル(七戸町役場)	●	●		11
14 電気バス		●		11
15 電気自動車		●		11
16 改造電気軽トラック		●		12
17 急速充電器(道の駅しちのへ)		●		12
18 太陽光発電パネル(道の駅しちのへ)		●		12
19 電動アシスト自転車		●		13
20 東北新幹線 七戸十和田駅		●		13
21 つつじロード	●			13
22 馬力大会			●	14
23 天王神社、つつじまつり	●		●	14
24 七戸城跡			●	15
25 瑞龍寺山門			●	16
26 山屋薬師堂			●	16
27 青岩寺			●	17
28 見町観音堂			●	17
29 NonoUe人形の館			●	18
30 蒼前平一里塚			●	18
31 上北変電所		●		18
32 中央公園	●			19
33 ホワイトバトル			●	19
34 天間館一里塚			●	19
35 奥州街道七戸松並木	●		●	20
36 諏訪牧場	●			20
37 しちのへ産直七彩館			●	20
38 ペレットボイラー(美土里荘)			●	21
39 ハッピーファーム	●			21
40 南部曲屋			●	21
41 鷹山宇一記念美術館			●	22
42 南部小絵馬・羽子板			●	22
43 旧七戸郵便局			●	23
44 ひげ塚公園			●	23
45 しちのへ秋まつり			●	24
46 親孝行踊り			●	24
47 七戸神明宮			●	25
48 レールバス(旧南部縦貫鉄道)		●	●	25
49 ニツ森貝塚			●	26
50 花松神社			●	27
51 かだれ天間林			●	27
52 ヒナコウモリ(コウモリ小舎)、天間館神社	●		●	28
53 中野川	●			28
54 作田川	●			29
55 大林川	●			29
56 坪川	●			29
57 高瀬川(七戸川)	●			30
58 赤川	●			30
59 ニツ森排水路	●			30

(2) 地域資源の概要

七戸町の環境・エネルギー教育に関連する地域資源の概要と問合せ先等を整理しました。

豊かな自然

1 はちまんだけ 八幡岳



八幡岳

概要 ▶ 標高1022mで、別名・雄嶽（おだけ）と呼ばれています。津軽の岩木山に対し南部の八幡岳ともいわれ、信仰の篤い山です。山頂に八幡神社があり、例大祭の日には山頂の社殿もにぎわいます。

戦前までは、15歳男子の成人の儀式として、「おだけ参り」が行われていました。

季節 春～秋

地区 全地区

問合せ先 ▶ 七戸山岳会事務局 0176-68-2111 (花松)

提供されるもの ▶ 山頂までの案内

豊かな自然

2 石倉山放牧場

季節 春～秋

地区 全地区

概要

石倉山（標高891m）の山腹に位置する放牧場です。昭和44年に造成されました。



石倉山放牧場

問合せ先 ▶ 七戸町農林課 0176-68-2116

提供されるもの ▶ 放牧場の案内

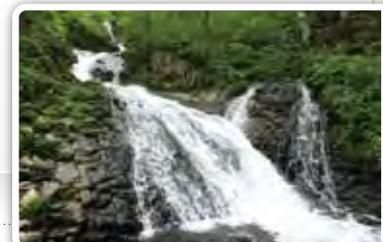
豊かな自然

3 さんがいだき 三階滝、竜天の滝

季節 春～秋

地区 七戸地区

概要 ▶ 作田川の上流にある3つの滝を総称して「三階滝」と呼んでいます。滝の愛好者には有名な場所です。さらに上流には「竜天の滝」もあります。



竜天の滝

問合せ先 ▶ 七戸山岳会事務局 0176-68-2111 (花松)

提供されるもの ▶ 滝までの案内

豊かな自然

4 天間ダム

概要

坪川上流にある洪水調整・かんがい用水の多目的のダムで、1968年に完成しました。ダム湖は七戸町で一番の大きさです。

天間ダムが完成したおかげで洪水がなくなり、多くの土地を開墾することができました。

堤高50.5m、堤長202.8mで、総貯水量1958万4千t。



天間ダム

季節 通年

地区 天間林地区

問合せ先 ▶ 青森県上北農村整備事務所 天間ダム管理事務所 0176-68-2107

提供されるもの ▶ ダム見学

豊かな自然

5 森林公園

概要

天間ダム下流の、みちのく有料道路そばにある公園です。

炊事場・東屋・広場等が整備されており、キャンプを行うこともできます。



森林公園

季節 通年

地区 天間林地区

問合せ先 ▶ 七戸町企画財政課 0176-68-2117

提供されるもの ▶ 公園の説明

6

 いちょうのき こあんがわら
銀南木、五庵川原


銀南木

銀南木

青森県指定天然記念物

所有 個人

季節 春～秋

地区 七戸地区

問 合 せ 先 ▶ 七戸町文化ガイドの会 0176-51-6100 (七戸町商工観光課内)

提供されるもの ▶ 観光資源のガイド

概要

樹齢推定750年、樹高約26m、根回り12mのイチョウの大木。

木のそびえる五庵川原は臨済宗の名僧法身国師ゆかりの地で、栄華をきらって松島円福寺(後の瑞巖寺)より移り草庵を開いたときに、イチョウを手植えしたと伝えられています。

太い枝が四方に伸びており、西側のものは長さ16m、北側は約11mに伸びているものもあります。特に北側と南側には地面に接した枝から、新しいイチョウが伸び出しています。気根(きこん)も多く垂れ下がって直径45cmに及ぶものもあります。近郷の人々からは、乳に見立てた気根にさわると母乳の出がよくなる樹と言われ、崇拝されています。別名・子安イチョウ。

周辺は農村公園として整備されています。

7 作田ダム

概要

作田川上流にある洪水調整目的のダムで、1979年に完成しました。

堤高31.5m、堤長257.0mで、総貯水量128万2千t。



作田ダム

季節 通年

地区 七戸地区

問 合 せ 先 ▶ 青森県上北農村整備事務所 作田ダム管理所 0176-62-2780

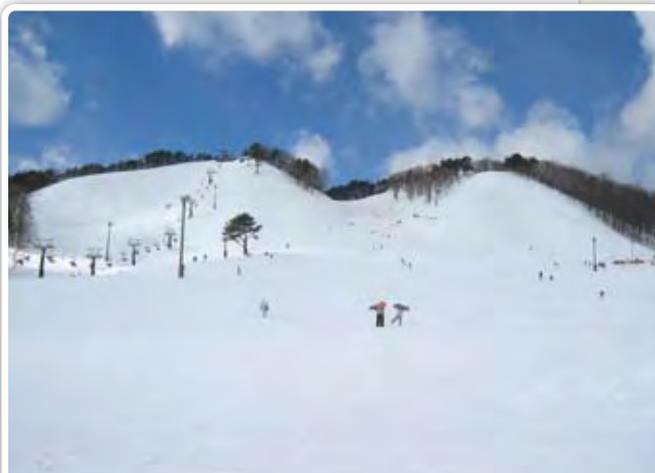
提供されるもの ▶ ダム見学

豊かな自然

8 七戸町営スキー場

概要

東八甲田家族旅行村と隣接する小高い山の斜面に造られ、西後方に八幡岳、八甲田山を望み、雪の少ない県南地方では貴重なスキー場として知られ、初級者から上級者まで幅広く利用されています。



七戸町営スキー場

季節 冬

地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 南部縦貫株式会社 0176-62-5612

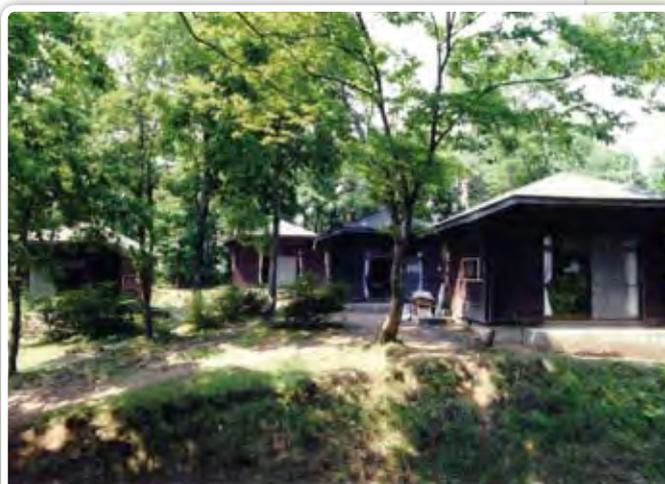
提供されるもの ▶ スキー場の説明

豊かな自然

9 東八甲田家族旅行村

概要

七戸の大自然の中で、家族や仲間思いっきり楽しむための施設で、ケビンハウスをはじめ、キャンプ場・バーベキューハウス・パターゴルフなどアウトドアを満喫できます。



東八甲田家族旅行村

季節 4月下旬～10月31日(月曜定休)

地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 南部縦貫株式会社 0176-62-5671

提供されるもの ▶ 施設の説明、宿泊等

豊かな自然

10 東八甲田ローズカントリー

概要

バラの産地化をめざし、生産から加工・販売までの一貫経営による新しい農業を創出、七戸町の農業の切り札的存在として期待され、市価より安く販売しており、ドライフラワーなども販売しています。またバラの摘み取りやフラワーアレンジメントも体験することができ、見頃となる夏には「しちのへバラまつり」が開催され、大勢の観光客で賑わいます。

- しちのへバラまつり／6月下旬～7月上旬

季節 春～秋 地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 東八甲田ローズカントリー 0176-62-5400

提供されるもの ▶ 花の説明、摘み取り体験等



東八甲田ローズカントリー

豊かな自然

11 和田ダム親水公園(わんだむらんど)

概要

高瀬川上流にある洪水調整目的のダムで、1996年に完成しました。親水公園として、休憩場所や食堂が設置されています。堤高44.0m、堤長303.0mで、総貯水量305万5kt。

季節 通年 地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 青森県上北農村整備事務所 和田ダム現場詰所 0176-62-6369

提供されるもの ▶ ダム見学



和田ダム親水公園(わんだむらんど)

生活・文化

12 千曳神社



千曳神社

概要 ▶ 大同2年(807年)坂上田村麻呂の創祀と伝えられ、江戸時代には幕府巡見使の参拝所であり、南部領では順路第一の地でした。一時取り壊されましたが、1765年に再興されました。一説には、青森県で最も歴史の古い神社といわれています。

古くから「つぼのいしぶみ」を建てたという伝説があり、これを訪ねた和歌や紀行文が多いことで知られています。近くから「日本中央」の碑が発見され、様々な論争の対象となっています。

季節 千曳神社例大祭7月下旬もしくは8月上旬

地区 天間林地区

問合せ先 ▶ 天間史跡勉強会 0176-68-3543(天間)

エネルギー

13 太陽光発電パネル(七戸町役場)

概要

平成 20 年 2 月に、役場庁舎前に 10kW の太陽光発電パネルが設置されました。庁舎内にあるモニターには、発電量がリアルタイムで表示されます。

パネルが地面の近くにあるため、触れることもできます。



太陽光発電パネル(七戸町役場)

季節 通年

地区 天間林地区

問 合 せ 先 ▶ 七戸町企画財政課 0176-68-2940

提供されるもの ▶ パネルの説明、発電量表示

エネルギー

14 電気バス

概要

平成 22 年 12 月、全国の自治体に先駆けて電気バスを導入しました。

滑るような加速と、停止時の静かさが特徴です。

乗車定員は 25 人。



電気バス

季節 通年

地区 全地区

問 合 せ 先 ▶ 七戸町企画財政課 0176-68-2940

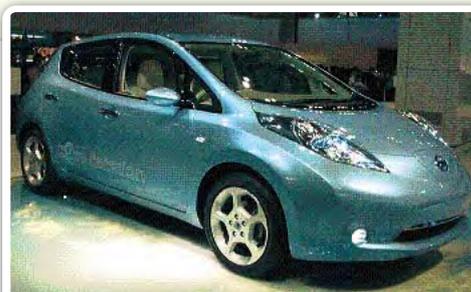
提供されるもの ▶ 電気バスの説明、体験乗車

エネルギー

15 電気自動車

概要

町所有の「リーフ」。平成 23 年 1 月に導入されました。



電気自動車

季節 通年

地区 全地区

問 合 せ 先 ▶ 七戸町企画財政課 0176-68-2940

提供されるもの ▶ 電気自動車の説明(出前講座可)、体験乗車

エネルギー

16 改造電気軽トラック

概要 ▶ 通常の軽トラックのエンジンを外し、モーターとバッテリーを組み込んだ改造電気自動車です。平成22年に町役場で導入しました。

走行を観察する他に、搭載しているバッテリー等を見ることができます。

地区 全地区

問合せ先 ▶ 七戸町企画財政課 0176-68-2940

提供されるもの ▶ 電気自動車の説明(出前講座可)



改造電気軽トラック

エネルギー

17 急速充電器(道の駅しちのへ)

概要 ▶ 道の駅しちのへに設置された電気スタンドで、電気自動車や電気バスの充電が行えます。太陽光発電パネルで発電した電気も充電に利用されています。

この他に普通充電器も設置されています。

急速充電器であれば、電気自動車のバッテリーを80%充電するのに約30分かかります。

季節 通年

地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 七戸町企画財政課 0176-68-2940

提供されるもの ▶ 充電器の説明



急速充電器(道の駅しちのへ)

エネルギー

18 太陽光発電パネル(道の駅しちのへ)

概要 ▶ 平成21年2月に道の駅しちのへに20kWの太陽光発電パネルが設置されました。施設内にあるモニターには、時間の発電量がリアルタイムで表示されます。また、道の駅構内には電気自動車用の充電器があり、太陽光で発電された電気も使われています。

季節 通年

地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 七戸町企画財政課 0176-68-2940

提供されるもの ▶ パネルの説明、発電量表示



太陽光発電パネル(道の駅しちのへ)

エネルギー

19 電動アシスト自転車

概要 ▶ 観光交流センターで、電動アシスト自転車を貸出します。

季節 春～秋

地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 七戸町企画財政課 0176-68-2940

提供されるもの ▶ 電動アシスト自転車の説明



エネルギー

20 東北新幹線 七戸十和田駅

概要

平成22年12月4日、東北新幹線七戸十和田駅が開業しました。七戸町を含む周辺市町村の発展

に向けて、大きな期待が寄せられています。

八甲田を望む大地の息吹と歴史を感じさせるデザインコンセプトになっており、外壁の曲面は八甲田連峰の山並みや南部馬の背中を表現しています。

新幹線は、電気ので多くの人数を短時間で運べる、環境に優しい乗り物です。

季節 通年

地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 七戸十和田駅 0176-62-6061



東北新幹線 七戸十和田駅

豊かな自然

21 つつじロード

概要 ▶ 町の花であるつつじを道の駅しちのへの前から奥羽牧場内の真っすぐな並木通りに総延長約5km植栽し、春のドライブコースになっています。

季節 5月

地区 七戸地区

問合せ先 ▶ 七戸町文化ガイドの会 0176-51-6100 (七戸町商工観光課内)

提供されるもの ▶ 観光資源のガイド



つつじロード

22 馬力大会

概要

古くからの馬産地である七戸町では、かつて盛んに馬力大会が行われていました。

30年ぶりの復活となった平成11年以来、毎年春・秋の2回開催しています。

大型馬のかん高いいななきと、馬主の威勢のあるかけ声がこだまするレースは迫力満点です。



馬力大会七戸場所

会場 家畜市場内特設コース

季節 春と秋の2回開催

地区 七戸地区

問 合 せ 先 ▶ 七戸畜産農業協同組合 0176-62-2125

提供されるもの ▶ 馬力大会の説明

23 天王神社、つつじまつり

概要

天王神社の境内は春になると樹齢300年以上といわれる大木を含め約500本の山つつじが咲き乱れます。つつじのトンネル散策や、向かい側の柏葉公園（七戸城跡）の展望台からの眺望など、色々な角度から観賞を楽しむことができます。また夜の18時～21時はライトアップが施され、幻想的な空間を作り出します。期間中は106段の石段の両脇に絵馬灯籠やつつじを詠んだ短歌が飾られ、境内から流れる琴や笛などの風流な音とともに、咲き誇るつつじを引き立てます。



天王神社の石段

季節 春

地区 七戸地区

問 合 せ 先 ▶ 七戸町文化ガイドの会 0176-51-6100（七戸町商工観光課内）

提供されるもの ▶ 観光資源のガイド